

4-5 交流・関係人口の拡大

手賀沼をはじめとする地域資源を活用し、多くの人々に親しまれる環境づくりを進めます。

■施策の展開内容

交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。

■現状と課題

- 市や市民と多様な形で継続的に関わる人を指す「関係人口」は、地域を活性化する存在として期待されています。観光に訪れる「交流人口」だけでなく「関係人口」も拡大できるよう、市民や事業者など民間の力を活用し、地域資源の魅力の発掘と情報発信を図る必要があります。
- 市内には、市のシンボルである手賀沼をはじめ、古利根沼、利根川などの水辺に代表される豊かな自然や、白樺派ゆかりの地などの文化遺産があり、大きな魅力となっています。これらの地域資源を最大限に活かして、交流・関係人口を拡大していく必要があります。

■主な取組

観光資源の活用による地域の活性化

- 手賀沼を中心としたさまざまな地域資源を活かして、市内外から多くの人々が訪れ親しんでもらえるよう、手賀沼花火大会をはじめとするイベントの開催や誘客に寄与する環境づくりに努めていきます。
- 「人と鳥の共存をめざして」をテーマに、ジャパンバードフェスティバルを開催し、環境保護を考える機会を提供するとともに、国内最大級の鳥の祭典としてその情報を発信し、自然環境の大切さをアピールしていきます。
- 手賀沼親水広場・水の館では、水環境保全の啓発を進めるとともに、手賀沼の魅力を高めるさまざまなイベントの開催を通して、地域の活性化やにぎわいの創出を図っていきます。
- 高野山新田エリアの豊かな自然環境と調和する景観作物を栽培するとともに、観光農園などの整備について検討していきます。
- 誰もが安全で快適に手賀沼の水辺に親しめるよう、手賀沼遊歩道の利用促進を図っていきます。

- 千葉県、柏市、印西市と連携して水面を含めた手賀沼・手賀川周辺の観光資源を活用するとともに、常磐線・成田線沿線の自治体や大学などと連携して広域で地域資源を活用することで魅力向上を図ります。
- 五本松公園周辺地域の魅力向上を図るため、公園とふれあいキャンプ場など周辺施設との一体的な活用について検討していきます。
- 多くの人を訪れ、市の魅力を知ってもらえるよう、手賀沼とその周辺でのスポーツイベントの開催やアウトドアアクティビティの普及を推進します。

観光情報の発信

- 多くの人に繰り返し訪れてもらえるよう、自然や歴史・文化をはじめとする市の魅力や観光情報をさまざまな方法で効果的に発信していきます。

■ 施策指標

指標名		現況値	目標値	備考	
観光イベント来場者数		232,000 人 (R1)	233,500 人	ジャパンボードフェスティバル・産業まつり・手賀沼花火大会・あびこカップまつり	
観光関連施設来場者数		507,379 人 (R1)	523,500 人	鳥の博物館・手賀沼親水広場・白樺文学館・杉村楚人冠記念館・旧村川別荘・旧井上家住宅	
市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなぎちカップ参加者数		201 人 (R2)	250 人		
ふれあいキャンプ場利用者数		8,730 人 (H30)	10,000 人		
地域ブランド調査の 点数	観光意欲度	順位	764 位 (R3)	600 位	株式会社ブランド総合研究所が毎年実施している調査結果に基づく（現況値は全国1000市区町村を対象に行われた令和3年度の調査結果）
		点数	15.5 (R3)	17.5	

【参考】近隣市の地域ブランド調査結果の状況

		柏市	松戸市	流山市	鎌ヶ谷市	印西市	野田市	取手市
観光意欲度	順位	688 位	547 位	721 位	669 位	767 位	841 位	928 位
	点数	16.5	18.6	16.0	16.7	15.4	14.6	13.3

■ 施策の満足度・不満度に関する指標（現況値は令和元年の市民アンケート結果を記載）

【交流人口の拡大】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 72.3%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		58.5%	59%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	11.3%	10.6%以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	10.7%		
	湖北地区	13.2%		
	新木地区	14.0%		
	布佐地区	15.9%		